

このことについては、教育部学校施設課・学務保健課から次のとおり情報提供がありました。議長より指示をいただきましたので、皆様にお知らせいたします。

平成30年7月12日
正副議長説明資料

藤沢市立学校及び通学路におけるコンクリートブロック塀等の状況について

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により、小学校のブロック塀が倒壊し、児童が亡くなるという事故が発生しました。そこで、藤沢市教育委員会では、市立学校及び通学路におけるコンクリートブロック塀等の状況調査等を実施しました。

1 藤沢市立学校敷地内におけるブロック塀等の状況調査結果の概要について

(1) 調査期間

2018年6月19日（火）から6月29日（金）まで

(2) 調査方法

各学校において、コンクリートブロック塀、万年塀、ブロック積みされた工作物（シュート板等）、その他倒壊のおそれのあると思われるものを含め調査

(3) 調査対象

全市立学校 55校（小学校35校，中学校19校，特別支援学校1校）

(4) 調査項目

塀の場所と種類，工作物の場所と種類，高さ，ひび割れ・破損・傾斜等の有無等

(5) 調査結果の概要

- ・学校施設外周の塀については、コンクリートブロック積みの塀はありませんでした。
- ・万年塀（鉄筋コンクリート組立塀）がある学校は13校，その内道路に面している万年塀がある学校は2校。
- ・万年塀のうち、ひび割れ・破損・傾斜等が確認された学校は6校。
- ・塀以外の工作物では、主にコンクリートブロック積みのシュート板などがある学校は11校。

(6) 今後の対応

万年塀，その他の工作物を含め，再点検を要すると思われる場所として，18校

で24カ所を抽出しており、今後、再点検の実施と必要に応じた対策の検討を図ってまいります。

2 藤沢市立小学校通学路におけるブロック塀等の点検結果の概要について

(1) 調査期間

2018年7月2日（月）から7月6日（金）まで

(2) 調査方法

藤沢市教育委員会事務局職員が、通学路に面したブロック塀等を目視により点検

(3) 調査対象

藤沢市立小学校35校の指定通学路に面するブロック塀等で、敷地（地盤面）からの高さが概ね1.2メートルを超えるもの。

なお、ブロック塀等とは、コンクリートブロック塀、万年塀、石積塀又はこれらを組み合わせた塀をいう。

(4) 調査項目

塀の種類、塀の高さ、傾き・ひび割れ等の有無

(5) 調査結果概要

- ・塀の総数 1,570箇所
- ・塀の高さが概ね2.2メートルを超えるもの 74箇所
- ・傾き・ひび割れ等が確認されたもの 170箇所

(6) 今後の対応

- ・各小中学校に情報提供を行い、児童生徒の安全確保に活用する。
- ・関係各課と情報共有し、連携して必要な対応を図ってまいります。

※この資料に関する問い合わせ先

<学校敷地に関すること>

藤沢市役所 教育部 学校施設課

担当：山口，木下 内線：5122

直通：0466（50）3557

<通学路に関すること>

藤沢市役所 教育部 学務保健課

担当：小池，戸田 内線：5213

直通：0466（50）3558